

## 淀川左岸線（2期）事業だより

大阪市では、淀川左岸線（2期）事業として、阪神高速3号神戸線の海老江ジャンクションから新御堂筋までの延長4.4kmで高速道路の整備工事を進めております。

本事業の工事を進めていく中で施工方法の精査、見直しを行い、昨年度の令和4（2022）年度に事業完了予定を6年延伸させていただきました。

今後とも、本事業に皆様のご理解をいただき、身近に感じていただきたく、この度、事業だよりを発刊させていただきますこととなりました。

創刊号となる第1号の内容は、事業概要の紹介と工事の進捗状況、出前講座・現場見学会の実施報告となります。

### 淀川左岸線（2期）事業について

淀川左岸線（2期）は、新名神高速道路、淀川左岸線（1期）、淀川左岸線延伸部、阪神高速道路6号大和川線及び第2京阪道路とともに近畿圏の広域ネットワークの強化を担っており、大阪都心北部地域での交通混雑の緩和と市街地環境の改善などを目的としております。

平成18（2006）年度から大阪市と阪神高速道路株式会社との合併施行方式により事業を実施しており、平成30（2018）年度に最初の施工ステップとなる仮堤防工事に着手して以降、令和14（2032）年度の完成をめざして事業進捗に努めております。

事業の詳細は、大阪市HPでご確認いただけます。

大阪市HP QRコード ➡

大阪市HP URL：<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000160706.html>



▲淀川左岸線（2期）の完成イメージ（北区中津3丁目付近）

### ＜万博開催地へのアクセスルートとしての活用＞

2025 大阪・関西万博開催時において、新大阪駅・大阪駅等の大阪中心部と万博会場となる夢洲とを結ぶシャトルバス等のアクセスルートとして淀川左岸線（2期）の建設中区間を暫定的に利用します。

本ルートを利用することにより、万博への来場者の方のアクセス時間を短縮し、市内での混雑を避けて万博会場へ向かうことが可能となります。



## 出前講座・現場見学会を実施しました

淀川左岸線（２期）工事の沿線にある福島区の３小学校を対象に出前講座・現場見学会を行いました。

- ・令和５（２０２３）年１１月２０日（月） 海老江東小学校 ４年生（５７名）
- ・令和５（２０２３）年１１月２２日（水） 海老江西小学校 ４年生（２２名）
- ・令和５（２０２３）年１１月２９日（水） 鷺洲小学校 ４年生（１３６名）

### <出前講座>

大阪市の担当者から淀川左岸線（２期）事業の目的や効果、大阪・関西万博開催時にはアクセスルートとして利用することの説明のほか、淀川左岸線（２期）は川の堤防と一体となる全国的にもめずらしい構造となるため、淀川の堤防で工事をするにあたっての安全対策について説明を行いました。

講座の際の大阪市担当者からの質問に対して児童のみなさんは元気よく手を挙げて答えてくれました。

児童のみなさんからは、この工事現場で何人の作業員がいるのか？何時から何時まで工事しているのか？などの質問がありました。



▲出前講座のようす（右上：海老江東小学校、左下：海老江西小学校、右下：鷺洲小学校）

### <現場見学会>

出前講座の後、ヘルメットをかぶって工事用の仮設階段を降りて地下の高速道路のトンネルを構築中の現場を見たり、工事用栈橋という鉄製の作業構台の上に登るなど、工事中の現場を歩いて回っていただきました。

普段見ることや入ることができない工事現場に入ることができたので、驚きや発見で笑顔がいっぱいでした。中でも、工事用の仮設階段は下が透けて見えて通行時には少し揺れるため、遊園地のアトラクションみたいで「楽しい〜！」と言う児童が多く、意外なところで楽しんでいたのが印象的でした。



▲地上からの見学のように



▲トンネル本体ができている箇所を見ているようす



▲工事用棧橋（作業構台）の下（地下）に降りてトンネル構築中の現場を見ているようす

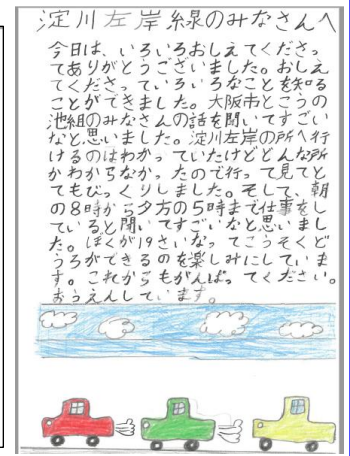
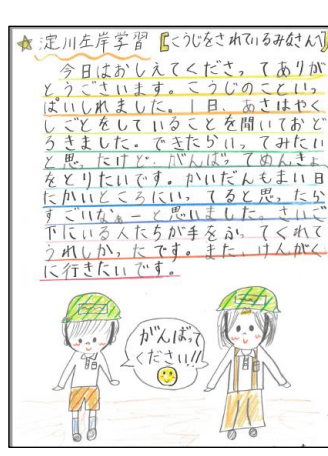
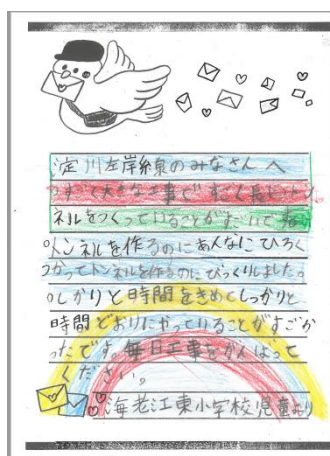
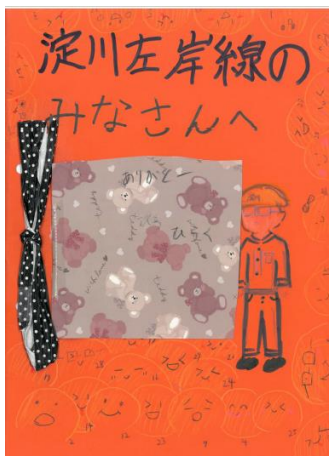


▲仮設階段の昇降時



▲工事用棧橋上からの見学のようす

後日、児童のみなさんから感想文をいただきました。事業完了予定（令和 14 年度）の 9 年後には、現在 4 年生のみなさんは自動車を運転できる年齢になっているため、完成したら車を運転して走るのが楽しみという感想が多かったです。うれしい感想をたくさんいただき、本事業のやりがいをより一層感じることができました。児童のみなさん、ありがとうございました。今後も早期完成を目指し、安全に工事を進めていきたいと思います。

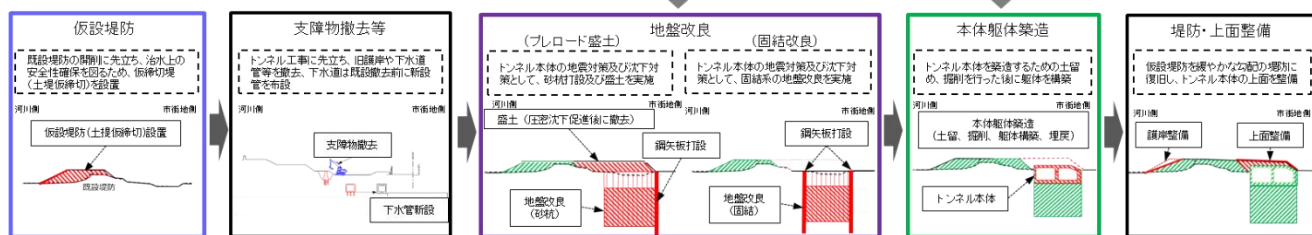


▲児童のみなさんからいただいた感想文

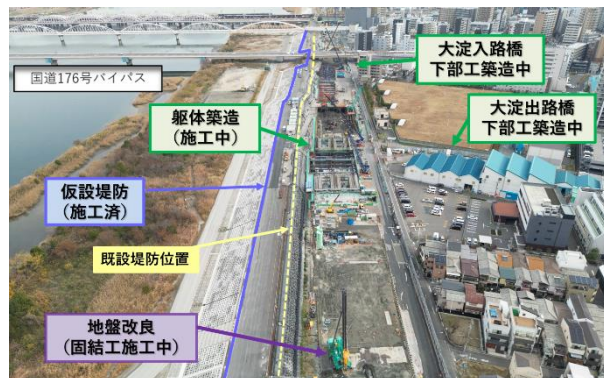
## 工事の進捗状況

淀川左岸線（2期）事業は、全長4.4kmの区間を大きく1～3工区の3分割にして下流側の1工区から順次工事を進めています。河川の堤防を一部掘削してトンネルを構築することから、治水上の安全性を確保するために、最初の施工ステップとして仮設堤防を川側に構築したうえで、トンネルを構築することとしております（下記ステップ図参照）。

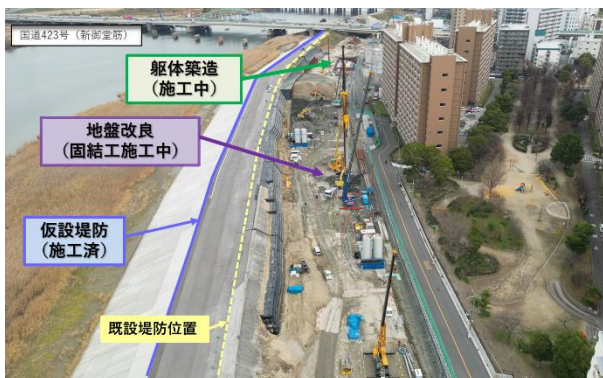
令和5（2023）年12月現在、1工区（海老江JCT～JR神戸線）では全線にわたってトンネル本体の躯体を築造中です。2工区（JR神戸線～阪急電鉄）と3工区（阪急電鉄～新御堂筋）では、大部分で地盤改良を実施しており、一般道との接続部となる大淀出入口や豊崎出口付近ではトンネル本体の躯体を築造中です。



▲ 1工区（海老江JCT～JR神戸線）の工事状況（R5.12月）



▲ 2工区（JR神戸線～阪急電鉄）の工事状況（R5.12月）



▲ 3工区（阪急電鉄～新御堂筋）の工事状況（R5.12月）

### <淀川左岸線2期建設事務所の紹介>

事務所は福島区野田6-2-16にあります（野田工営所と同じ建物です）。<TEL：06-6466-2180>

所長1名、課長2名、課長代理3名、係長10名、係員17名の計33名の体制で事業を進めています。

ドローン映像URL（再生リスト）：

[https://youtube.com/playlist?list=PLt8-6DQr\\_zPYIrx618IhmAHj3OYfNRJmL&si=NeAVgcm](https://youtube.com/playlist?list=PLt8-6DQr_zPYIrx618IhmAHj3OYfNRJmL&si=NeAVgcm)

